

# ジェンダー平等の町に

森氏の女性蔑視発言に対し、国内の政府関係者や与党の姿勢に、市民やボランティア、企業、海外からの批判が高まり、森氏は東京五輪の組織委員会会長を辞任しました。

日本のジェンダー平等意識の低さが露呈しましたが、南知多町ではどうでしょうか。

## 「女は男の後ろに控えていなさい」 こんな意識を改め男女平等の社会に

- ・私は鯛祭りなんか、ほんととはやりたくない。男は酒飲んで騒いで、女はひたすら食事作りばかりだからね。(豊浜の女性)
  - ・高齢の女性から「あんた旦那さんに楯突いてはいかんよ。女は旦那の言うことを聞いていれよ」と言われた。(内海の女性)
- 身近な家庭、地域で男性が主で、女性は男性に従属する意識が染み渡っているのではないのでしょうか。南知多町は、役場職員の管理職の割合が知多地域で最も低い、町議会は今は女性議員がゼロ、多くの委員会なども男性が圧倒的に多いのが現状です。

しかし、豊浜の工場を支えているのは、パートの女性労働者、高齢者施設や保育所などのケア労働を、安い賃金で支えているのも多くは女性です。社会を支える仕事を担っているのは、多くが女性なのです。しかし、コロナ禍で真っ先に仕事を失ったり、シングルマザーで生活に困ったりしているのも女性です。

## 誰もが自分らしく生きられる ジェンダー平等社会の実現へ

町総合計画審議会には、女性の委員が増え、意見がたくさん出るようになったとのこと。女性に安上がりの労働力、家庭責任を負わせてきた社会を、今こそ変えて全ての人の尊厳が大切にされる社会の実現をめざしましょう。



内海海岸

# あなたの声を町政に



内田保議員は、町内をまわり、直接皆さんの声を聴かせていただいています。町民の命とくらしを守るために皆さんの声を力にがんばる決意です。

2月28日、しまづ幸広前衆院議員(衆院東海比例候補)とともに、内田たもつ議員は日間賀島を訪問。「地球温暖化や開発で海の環境が変わり、生活が大変。国民の方に向けた政治に変えて」などの声が寄せられました。



漁師は、跡継ぎもなく、魚も獲れず、お先真つ暗だ。もう少し、しっかりした漁業支援をしてほしい。



子育てしやすい町づくりをするなら、子どもが、保育所へもっと入りやすくしてほしい。



介護施設や病院などへのPCR検査をきちんとやってほしい。高齢者に配慮したコロナ感染防止対策もはっきりしてください。



議員になって、一度も一般質問しない人がいるとは驚きだ。何のために議員になったのか。税金泥棒ではないか！



年金暮らしの75才以上の高齢者に、医療費の2割負担は、ひどすぎる。

## 内田保議員は 毎回質問しました

### 各議員の一般質問の回数

(3年9か月の間で 委員長のみ質問を除く13回)

石黒 充明	0回
藤井 満久	0回(議長)
鈴木 浩二	1回
松本 保	1回
石垣 菊蔵	4回
小嶋 完作	4回
山本 優作	6回
吉原 一治	6回
片山 陽市	7回
榎戸 陵友	12回
服部 光男	12回
内田 保	13回

(南知多町「議会だより」より)

## 内田たもつ日記



今回の議会を終えて、議員としての3年9か月、15回の議会の内、2つの委員会の委員長のみの質問となった昨年6月と今回の3月を除き、全ての議会で一般質問をしてきました▼一般質問や様々な発言をするためには、議案や町からの提案を読み、調査したり、日頃から町民の方々の声を聴いたり、分からないことを役場に問い合わせたりして準備は大変です▼一般質問は議員必携には「行財政全般にわたる議員主導による政策論議」と位置づけられ、町政をチェックし、町民の声を届けるための重要な議員の仕事です▼南知多町議会は、他市町と比べても発言者は少なく、またその運営の仕方もあるべく短く簡単に済ませる方向に流れています。3月議会で各議員の一般質問をする権利を制限したのは、知多半島で南知多町だけです▼「意義なし」の声ばかりが響く議会ではなく、賛成でも反対でも、議論をつくす民主的な議会が望まれます。

野党連合政権の実現でコロナから命守る政治を  
無為無策の菅政権に選挙でピリオドを  
あなたの願いが届く政治を実現します

## 衆院選挙制度解説

衆議院比例代表は

日本共産党 と

政党名で

(個人名は無効です)

小選挙区は候補者名で